

ビッグデータは 教育課題を解決する 魔法の杖か？

私は **NO** だと思う。

ただ集められた情報に価値はない。

そのなかから「原因」と「結果」を科学的根拠を基に見出すことができれば、どんな貴重なデータも「宝の持ち腐れ」です。それを可能にしてくれるのが、経済学という強力な分析ツール。

これからの時代に経済学の見方・考え方とその高度に洗練された方法論を身に付けることは、どんな現場でも間違いなく強みになりますよ。



大熊 正哲 OHKUMA MASANORI	専門	経済学		
	研究キーワード 応用計量経済分析 金融論 教育経済学 地域経済			
教育学域 准教授	授業内容 ◎ 教育データサイエンス学位プログラム 「教育科学のための計量分析Ⅰ」、「教育科学のための計量分析Ⅱ」、「教育科学のための計量分析演習Ⅰ」、「教育科学のための計量分析演習Ⅱ」ほか ◎ 教育学学位プログラム 「教育科学特論(経済学Ⅰ)」、「教育科学特論演習(経済学Ⅰ)」、「教育科学特論(経済学Ⅱ)」、「教育科学特論演習(経済学Ⅱ)」ほか		主要研究課題 ミクロ計量経済学的手法を用いた政策・実践評価	もっと知るには 
大学院: 教育科学専攻(修士課程) 担当				
学 位 博士(経済学) (早稲田大学)				

大熊の経済学



経済理論と統計の手法を方法論の両輪として、さまざまな社会課題を解決するための処方箋を提示します。そのためには分析方法の厳密性ととともに、現実の社会に対する鋭敏な問題意識が問われます。

01 「経済学×データサイエンス」で社会課題解決

02 経済だけじゃない経済学!?



経済学は「社会科学の女王」とも称されるエキサイティングな学問。その準備範囲は社会における人間行動のすべてに及ぶといっても過言ではありません。経済学だけど、経済だけじゃないんです。もちろん、教育という営みも経済学の主要な研究対象の一つ。



教育に求められるのは「経験・勘・気合」の“3K”? もろんそれらも大事ですが、学術研究から得られたエビデンス(実証の根拠)を活用すれば「鬼に金棒」のはず。エビデンスを「つくる」のは、私たち経済学者のしごとです。

03 「エビデンスに基づく教育」

04 教育学研究科ならではのデータサイエンス



データサイエンティストとしての競争力は、データサイエンスの汎用的な知識・技能と分析対象に固有のドメイン知識の掛け合わせで決まります。教育学研究科で教育という営みに対する洞察力を鍛えることは、将来かけがえのない強みになりますよ。



05 「なぜ」の問いを科学する
いま、あらゆる科学研究や臨床実践の現場は「因果革命」のただ中にあります。その方法論的な基礎付けをしているのが、「統計的因果推論」といわれる統計分析の新しい枠組み。その経済学研究への応用が現在の主要な研究課題です。

06 学生を育てるノウハウ



研究室には多様な専門性を有する学生が集います。学部時代に経済学や統計解析になじみがなかった学生を、これまで培ってきた各自の専門性を活かして一気に大学院レベルの研究ができるまで指導します。こうしたノウハウがあるのも、教育学研究科ならではのかも?



07 理系と闘える着眼点とアイデア

きわめて高度に数理化されている現代経済学。でも、社会科学の一分野であるからには、その基底には社会に対する鋭敏な問題意識があります。現代社会が抱えるさまざまな問題に対してアンテナを高く張り続けること、また、研究者としての自らの比較優位を問い続けること。そこから、研究の新しいアイデアが生まれます。

08 やさしく面白く二人三脚で



「その研究のどこがおもしろいの?」「その研究にどんな意義があるの?」「その研究のオリジナリティは何なの?」—学生と徹底的に議論しながら、修士論文提出まで伴走します。

問題意識



効果検証能力



実践知

研究室からの風景

SCENERY FROM THE LABORATORY

01 なぜ経済学を学ぶのか？ 話はそこから始めます

そもそもなぜこの学問が必要なのか。それを実感していると、成長スピードはまるで違います。経済学未修者も多いため、研究指導は丁寧に。経済学がわかると、世界がまるで違って見えますよ。

学生



経済学？
そもそも
面白いの？

02 研究テーマの設定には 徹底的にこだわってほしい

研究計画は新規性・独自性・実現可能性などを考慮する必要があります。学生のアイディアを基に、「おもしろい!」と言ってもらえる研究ができるようにアドバイスしていきます。

えっ！



そんな考え方
思いつかなかった

03 分析の結果よりも 大事なのは方法です

1つ1つの内容をきちんと説明できる？ 質問されたことに真摯に向き合いながら答える姿勢が大事です。その分析方法が本当に適切なのか、自分の頭で徹底的に考えることで、はじめて科学的議論に耐えられる研究になります。

頑張れる！



優しさと厳しさの
バランス最高！

05 「経済学×データサイエンス」を武器に 社会で活躍する修了生たち

学校関係者を主な顧客とする企業で働くある修了生は、市場調査や在庫管理の業務に大学院での学びを役立てているとか。これも研究を通じて高度な知識・技能を自律的に学ぶための知的土台がしっかりとつくれたからこそ。

先生感謝



あれ？就職しても
なんか良い感じ

06 修了後に在学時のやりとりを 見返すらしいです

就職しても、院生時代を思い出す学生も多いと聞きます。修士論文の草稿にこんなコメントが書いてあったなあと、辛いことがある度に読み返すのだそう。修了後のメンバー同士のつながりも研究室の大切な財産です。



あの頃のチェックに
ぬくもりを感じる

大熊 正哲

OHKUMA MASANORI

専門

経済学

研究キーワード 応用計量経済分析 金融論 教育経済学 地域経済

もっと知るには

